

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

金融を通じて社会に貢献する企業でありつづける

当期純利益
130億円親会社株主帰属純利益
26.6%ROE
25%以上配当性向
50%以上

② 中長期の経営戦略

1. コア事業の持続的成長

オペレーティング・リース事業で培った競争優位性維持とイノベーション創出。商品組成力・資金調達力向上、キャッシュフロー最適化

3. 顧客基盤・投資家層拡大

オペレーティング・リース事業のファンド管理リソースと顧客基盤を活かし、個人・事業法人・金融機関など多様な投資家獲得

2. 事業ポートフォリオ拡充

2026年までに非オペレーティング・リース売上比を約30%まで拡大。4主力事業（リース・不動産・環境エネルギー・プライベート・エクイティ）の推進

4. サステナビリティ経営推進

環境エネルギー事業・パーツアウト・コンバージョン事業の拡大。再生可能エネルギー普及による地方創生と循環型社会実現

③ 対処すべき課題

① コア事業の競争力維持

- 商品組成力と資金調達力の向上
- キャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮化
- 取引先与信管理とガバナンス体制の強化

② 事業ポートフォリオ拡充

- ワンストップサービス提供体制の強化
- 専門性向上のための情報連携ネットワーク拡充
- 顧客本位のソリューション提供と専門人材登用

③ サステナビリティと社会課題解決

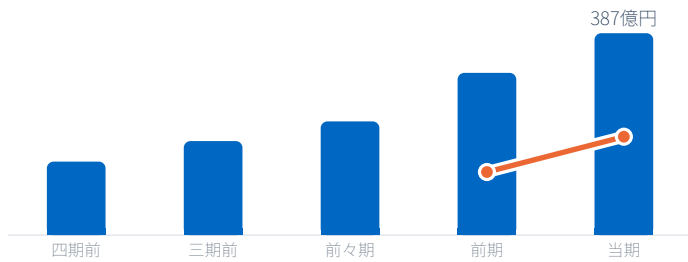
- 再生可能エネルギー事業の収益性向上と拡大
- 機齢経過機のリサイクル・リユース拡大
- 自治体・教育機関との地域社会共生推進

面接で使えるポイント

- 金融力で日本経済を支える中堅・中小企業の潜在力を引き出し、事業継続をサポート
- 2024～2026年中期計画で当期純利益130億円、非リース売上約30%を目指す変革
- 環境エネルギー・パーツアウト・コンバージョン事業でSDGs課題解決と持続可能社会に貢献

証券コード 7172

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
387億円

営業利益率
48.7%

財務健康度
47点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 59.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
958万円

平均年齢
48.1歳

平均勤続
3.6年

女性管理職
8.2%

男性育休
100.0%

証券、商品先物取引業内 15位/36社 証券、商品先物取引業内 4位/36社 証券、商品先物取引業内 32位/36社 証券、商品先物取引業内 13位/19社 証券、商品先物取引業内 5位/16社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 双日[2768]: 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー

